

【3. 選択必修領域:学校教育相談】

講習内容							
家庭、地域、児童生徒等が抱える問題が多様化、複雑化、深刻化する中で、学校・教師の対応の在り方が鋭く問われてきています。本講座においては、様々な悩みを抱える児童生徒一人一人に対して、きめ細かく対応するための基本的知識及び方法の習得を目指します。							
講座	講座テーマ	内 容			受講対象	時間	担当者
		講座概要	到達目標	キーワード			
③-1	「学校不応の予防・改善にむけた具体方策」～学級経営の実際、及び支える理論について	・学校不応(主に不登校、いじめ)の予防・改善に向け、カウンセリング理論・技法を活かした具体方策について理解を深める。	・子どもに不応が生ずる背景について理解することができる。 ・学校不応の予防・改善に活かすカウンセリング理論・技法の基本について理解することができる。	「不登校」 「いじめ」 「カウンセリング理論・技法」	小・中・高 全教諭	3	菅山 和彦
③-2	児童生徒の問題行動の理解と対応	複雑化、多様化する児童生徒の問題行動について、問題を抱える児童生徒自身の個人的な要因および他者との関係性や環境との相互作用の要因の双方から理解する手法を学びます。そのうえで、問題行動(特に不登校やいじめ)が発生した際の対応のプロセスについて、事例分析等も交えながら理解を深めます。	・問題行動(不登校、いじめ)について、個人、関係性、環境の相互作用といった多面的な要因を統合して理解することができる。 ・問題行動が発生した際の対応のプロセスの基本的な枠組みを理解することができる。	「不登校」 「いじめ」 「アセスメント・対応のプロセス」	小・中・高 全教諭	3	川俣 理恵